超活性ＮＫ細胞治療とは

がんとは従来、体内にてがん細胞が免疫細胞との闘いに打ち勝ち、時間をかけて細胞分裂し増殖したものをいいます。

そこで、体内にあるがんに対する免疫細胞「ＮＫ細胞」を採取して最大に増殖・活性化し、がん細胞と闘わせます。

これが超活性ＮＫ細胞治療です。

リンパ球を用いた免疫細胞治療は、すでに大学病院などで数十年にわたって研究、治験として行われてきた実績があります。こうした大学病院もすでに十数か所あり、今大変注目されている免疫細胞治療なのです。

免疫細胞治療の選択

❶ 超活性ＮＫ細胞治療

（超活性ＮＫ細胞治療のみの単独療法）

❷ 三大治療（手術、放射線、抗がん剤）＋超活性ＮＫ細胞治療

（三大治療との併用療法も可能）

がんが活動的な時はまず、スタンダードに抗がん剤や放射線、手術を行い活性細胞療法と併用することで奏効率は高まります。

三大治療との相違点

	治療方法	副作用
手　術	手術でがんを切除する	正常臓器への負荷。手術によるがん細胞への刺激。
放射線治療	がんに放射線を照射する。	局部以外の細胞のダメージ又身体への放射線の影響。
抗がん剤治療	抗がん剤の投与。	がん細胞以外の正常細胞も死滅させ強い副作用もある。
超活性ＮＫ細胞療法	活性したＮＫ細胞でがん細胞を攻撃する。	副作用もなく、まれに発熱。

現代医学のがん治療は、手術と放射線治療、抗がん剤治療が一般的です。

ところが、これらの治療は絶対的なものではありません。免疫細胞治療の役割はがん細胞を攻撃する免疫システムが脳の視床下部の働きと密接なかかわりがあり、免疫力を高めるものです。「心と免疫」は一体であり、自分自身の「病気と闘う、生きる」とする意欲がとても大事です。

快感や心の安定は免疫力を高め、反対にストレスは免疫力を低下させることが医学的に証明されています。

超活性ＮＫ細胞治療の特徴

ＮＫ細胞は、がん細胞治療の本命であり、高い攻撃力を備え、鉄壁な防御を固めているがんに対しても有効に攻撃し又、あらゆるがん細胞にも攻撃します。

❶ 三大治療との併用により治療効果が高まり、また抗がん剤の副作用も改善される。

❷ すべての種類のがんに対応。（血液がんの一部を除く）

❸ 基本的には副作用はなく、高齢の患者さんにも最適。

❹ 難治性がんと診断された方の治療にも可能。

❺ 通院による治療が可能。

❻ 免疫細胞の中でもＮＫ細胞は、がん細胞を狙い撃ちし、攻撃力が強い。

❼ がんは免疫の病気であり、超活性ＮＫ細胞治療は適した治療方法である。

❽ 患者さん自身の血液より増殖・活性化する治療で安心である。

超活性ＮＫ細胞治療の考え方

現在がんは2人に1人が発生する時代に入り三大治療（手術、抗がん剤、放射線）による治療が完全ではなく、むしろその副作用で身体に大きなダメージを受け残念ながらがん本来の苦しみと二重の苦しみに追い込まれているのが現状です。

そんな中、超活性ＮＫ細胞治療は患者さん自身の持っている免疫細胞を特殊な技術で体外で、増殖・活性化させ、再び体内に戻しがんを攻撃させる最先端治療なのです。

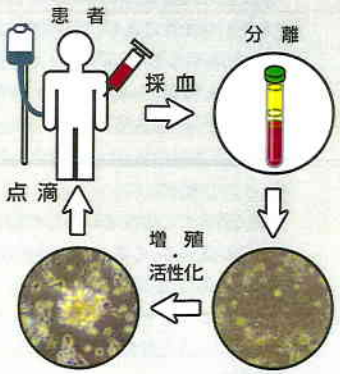
超活性ＮＫ細胞治療は患者さん自身の細胞を培養することで副作用がほとんどなく、血液がんの一部を除いてすべての進行がんに適応が可能です。又、三大治療との併用治療で治療効果も向上します。

全国協力医療機関

全国都道府県に当院の協力医療機関が御座います。
遠方の患者さんも各協力医療機関で治療を受ける事が可能です。

当院には、数多くの治療症例がございます。
詳しくはホームページを御覧下さい。
http://www.doctor-naito.com/results

活性ＮＫ細胞の誘導と治療法



当院は、化学的な理論、根拠に裏付けされた研究の基で、体外から高活性、高純度のＮＫ細胞の大量増殖、培養方法を確立しました。

これにより誘導したＮＫ細胞（細胞障害性Ｔ細胞を含む）で、がん細胞を攻撃する研究、臨床医学応用によるがんの免疫細胞治療を行っています。

患者さんから少量の血液を採取し、化学的な培養技術で増殖・活性化し、約2週間無菌状態で、約20億～60億個にまでＮＫ細胞（細胞障害性Ｔ細胞を含まれています）を増殖させ、生理食塩水とともに、再び静脈から患者さんの体内へ戻すという免疫細胞治療を行っています。

1回に投与する活性化したＮＫ細胞（Ｔ細胞を含む）の量は患者さんの状況により異なります。

一般的に計算すると健康な人が持っている活性ＮＫ細胞量の約20倍～60倍で、約20人～60人分に相当しています。（一人の体内を循環する血液量は約4～5リットルで、活性ＮＫ細胞量は約１億個です）

当院併設の細胞培養センター

治療の主な流れ

☎ お電話にて予約　フリーダイヤル 0120-681-731

お電話で診察・相談の予約日を決定いたします。（初回のみ無料）

↓

院長の診察　症状を詳しく伺います。（来院されるのはご家族の方でも結構です。）

治療開始

採　血　患者さんから血液を採取します。

↓

増殖・活性化　当院併設の培養センターにてＮＫ細胞を増殖・活性化します。

↓

点　滴　当院もしくは全国の協力医療機関にて増殖・活性化したＮＫ細胞を患者さんに点滴をいたします。

（2回目以降の点滴）